

○「京都観光振興計画２０２５」指標及び目標値の推移

計画期間：令和３年度（２０２１）～令和７年度（２０２５）

★ 京都市政策評価における客観指標
（※）秋調査（１１月）の調査結果のみのデータ

最終更新：令和６年７月２３日

指標		重点 指標	調査項目	コロナ拡大前					コロナ拡大後				目標値	備考	調査方法	
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)				
1 市民生活と観光の調和が図られ、市民が豊かさを実感できる。																
1	市民生活への影響	混雑（公共交通）★	●	自ら経験した割合 （路線バスや地下鉄の混雑）	—	—	—	—	—	71.5%	74.1%	58.3%	62.4%	58.3%	【目標値：H27以降の最低値】 （ただしR2以降調査実施） ※質問方法変更 ～R3「混雑する」 R4～「混雑して迷惑した」	市民調査
2		混雑（観光地）★	●	自ら経験した割合 （観光地及びその周辺の混雑）	—	—	—	—	—	65.9%	72.8%	60.4%	66.4%	60.4%		
3		混雑（道路）★	●	自ら経験した割合 （道路が渋滞）	—	—	—	—	—	65.4%	76.8%	61.9%	61.1%	61.1%		
4		マナー★	●	自ら経験した割合 （マナー違反による迷惑）	—	—	—	—	—	57.6%	52.6%	38.5%	47.7%	38.5%		
5		宿泊施設★	●	自ら経験した割合 （騒音・ごみ・車両の出入り等）	—	—	—	—	—	44.6%	36.3%	16.9%	18.8%	16.9%		
6		観光の重要度	●	京都の発展に観光が重要な役割を果たしていると思う方の割合	—	—	—	—	—	64.7%	74.5%	72.9%	72.7%	74.5%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR2以降調査実施）	
7		給料増		自ら経験した割合 （売上増による給料増）	—	—	—	—	—	12.2%	8.2%	4.3%	20.2%	—	※質問方法変更 ～R3「影響がある」 R4「影響があった」 R5～「影響があると感じた」	
8		買物環境向上		自ら経験した割合（新規出店増による 買物環境向上）	—	—	—	—	—	15.9%	19.6%	13.1%	19.0%	—		
9		生活環境向上		自ら経験した割合 （まちに活気、生活環境向上）	—	—	—	—	—	17.0%	25.0%	14.6%	17.6%	—		
10		交流促進		自ら経験した割合 （観光客との交流促進）	—	—	—	—	—	11.1%	9.3%	4.9%	9.7%	—		
11		利便性向上		自ら経験した割合 （公共交通機関が発達）	—	—	—	—	—	23.2%	18.4%	15.5%	11.0%	—		
12		シビックプライド		京都市が観光で評価されることを誇りに 思う方の割合	—	—	—	—	—	58.3%	68.1%	67.4%	64.9%	—	—	
13	3つの分散化	時期		月別繁栄差	1.4倍	1.5倍	1.5倍	1.4倍	1.3倍	未実施	未実施	2.1倍	1.4倍	—	—	観光客調査
14		時間		朝観光 日本人訪問時間（6～9時）	—	—	—	13.8%	14.1%	19.1%（※）	18.8%（※）	16.0%	14.3%	—	—	
15				夜観光 日本人訪問時間（18時～深夜）	—	—	—	18.1%	18.0%	19.1%（※）	14.6%（※）	14.4%	15.3%	—	—	

○「京都観光振興計画2025」指標及び目標値の推移

計画期間：令和3年度（2021）～令和7年度（2025）

★ 京都市政策評価における客観指標
※）秋調査（11月）の調査結果のみのデータ

資料2-2

最終更新：令和6年7月23日

指標		重点指標	調査項目	コロナ拡大前					コロナ拡大後				目標値	備考	調査方法
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)			
16	3つの分散化	場所	● 日本人訪問地割合 （「とっておきの京都」プロジェクトエリア）	13.9%	11.8%	11.7%	12.8%	13.3%	18.5%※	17.2%※	14.5%	11.9%	18.5% 【暫定目標】	【目標値：R2以降の最高値】 コロナ禍の影響で特に状況が激変する可能性があるため暫定目標として設定。	観光客調査
17			日本人訪問地割合 （伏見）	11.3%	15.3%	15.8%	15.0%	14.8%	19.8%※	9.5%※	12.3%	11.4%	—	—	
18			日本人訪問地割合 （山科）	2.7%	2.2%	3.3%	2.5%	2.2%	2.4%※	1.5%※	1.5%	1.1%	—	—	
19			日本人訪問地割合 （大原・八瀬）	4.3%	3.1%	3.2%	2.3%	2.1%	5.5%※	5.7%※	2.9%	2.4%	—	—	
20			日本人訪問地割合 （高雄）	3.3%	1.6%	1.3%	1.4%	1.3%	3.5%※	5.6%※	2.2%	1.3%	—	—	
21			日本人訪問地割合 （京北）	—	—	—	—	0.3%	0.6%※	0.4%※	0.3%	0.2%	—	—	
22			日本人訪問地割合 （大枝・大原野）	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.5%※	0.5%※	0.3%	0.3%	—	—	
23	観光による 地域貢献	地域調和	● 「地域との調和」につながる行動を積極的に取り組んでいる事業者の割合	—	—	—	—	—	—	45.8% （再集計前 51.9%）	56.7% （再集計前 59.9%）	51.0%	56.7%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施） ※R5から設問設計を変更。経年比較のため過年の数値を再集計している。 ※「積極的に取り組んでいる」事業者に加え「取り組んでいる」事業者を含めた割合は77.5%。（R5）	事業者調査
24			日本人 観光消費額単価（全体） 市内交通費	1,955円	2,002円	1,949円	2,008円	2,091円	未実施	未実施	未実施	2,463円	—	—	観光客調査
25			外国人 観光消費額単価（全体） 市内交通費	—	3,024円	3,552円	4,394円	3,322円	未実施	未実施	未実施	7,081円	—	—	
—		公共交通への貢献	自ら経験した割合 （公共交通機関が発達）（再掲）	—	—	—	—	—	23.2%	18.4%	15.5%	11.0%	—	※質問方法変更 ～R3「影響がある」 R4「影響があった」 R5～「影響があると感じた」	市民調査
26			日本人 観光消費額単価（全体） 入場料・拝観料	1,102円	1,225円	1,413円	1,423円	1,450円	未実施	未実施	未実施	1,594円	—	—	観光客調査
27		文化の 維持・継承	外国人 観光消費額単価（全体） 入場料・拝観料	—	1,473円	2,371円	2,476円	1,869円	未実施	未実施	未実施	3,797円	—	—	
28			日本人 文化体験 文化体験をした方の割合	—	28.1%	37.9%	43.5%	42.9%	47.1%※	38.1%※	38.7%	27.3%	—	—	
29			地域の町内会や祭事、イベント等へ積極的に参画している事業者の割合	—	—	—	—	—	—	24.1%	32.7%	31.4%	—	—	事業者調査
30			● 事業活動が京都の文化の維持継承等に寄与してきたと思う事業者の割合	—	—	—	—	—	—	70.0%	81.3%	82.8%	82.8%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施）	
31			文化や伝統を将来に引き継ぐ取組を行っている方の割合	—	—	—	—	—	—	55.9%	52.2%	45.4%	—	—	市民調査

○「京都観光振興計画２０２５」指標及び目標値の推移

計画期間：令和３年度（２０２１）～令和７年度（２０２５）

★ 京都市政策評価における客観指標
（※）秋調査（１１月）の調査結果のみのデータ

資料２－２

最終更新：令和６年７月２３日

指標		重点 指標	調査項目	コロナ拡大前					コロナ拡大後				目標値	備考	調査方法
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)			
32	観光による 地域貢献	地産地消	日本人 飲食・買物時の京都産選択割合	—	—	—	—	—	—	73.0%	73.7%	75.8%	—	—	観光客調査
33			地元産品・工芸品を利用した商品・ サービスを積極的に提供している事業者の割合	—	—	—	—	—	—	30.2%	31.9%	31.0%	—	—	事業者調査
34	市民による観光	実施状況	京都市民の京都市内観光の頻度 半年に1回以上	—	—	—	—	—	42.8%	38.2%	36.6%	44.9%	—	—	市民調査
35		満足度 ★	● 京都市民の京都市内観光時の満足度 （やや満足以上）	—	—	—	—	—	—	64.3%	63.7%	58.8%	64.3%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施）	市民調査

2 あらゆる主体が京都の「光」を磨き上げ、観光の質を高める。

36	観光消費額単価	●	日本人 観光消費額単価（全体）★	17,073円	19,669円	18,696円	20,931円	20,267円	未実施	未実施	未実施	23,809円	23,809円	【目標値：H27以降の最高値】	観光客調査
37			日本人 観光消費額単価（日帰り）	8,364円	10,058円	10,383円	10,132円	11,054円	10,214円 （※）	10,898円 （※）	12,244円	12,650円	—	—	
38			日本人 観光消費額単価（宿泊）	44,707円	47,558円	41,891円	52,795円	54,970円	56,598円 （※）	57,175円 （※）	59,490円	63,986円	—	—	
39		●	外国人 観光消費額単価（全体）★	—	31,860円	34,593円	46,294円	37,437円	未実施	未実施	未実施	71,661円	71,661円	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしH28以降調査実施）	
40			外国人 観光消費額単価（日帰り）	—	11,087円	16,165円	23,798円	19,766円	未実施	未実施	未実施	23,726円	—	—	
41			外国人 観光消費額単価（宿泊）	—	54,267円	56,709円	64,004円	60,991円	未実施	未実施	未実施	87,208円	—	—	
42	文化・文化財と経済の関係		日本人 文化や文化財の維持・継承に 貢献したい方の割合	—	—	—	—	—	—	40.5%	43.2%	37.3%	—	—	観光客調査
43			観光消費額 入場料・拝観料、文化体験費用	626億円	677億円	830億円	835億円	813億円	未実施	未実施	未実施	958億円	—	—	
44	残念なことがあった割合		日本人 残念なことがあった方の割合	47.4%	43.9%	46.0%	46.5%	44.7%	42.3%（※）	40.9%（※）	36.6%	43.0%	—	—	観光客調査
45			外国人 残念なことがあった方の割合	17.4%	16.7%	15.6%	16.7%	16.3%	未実施	未実施	未実施	16.3%	—	—	
46	京都観光の総合満足度		日本人 大変満足された方の割合	21.3%	22.6%	23.5%	23.4%	22.6%	29.2%（※）	26.1%（※）	28.3%	25.0%	—	—	観光客調査
47			外国人 大変満足された方の割合	44.6%	41.1%	39.9%	43.4%	40.9%	未実施	未実施	未実施	53.8%	—	—	
48	感動したことがあった割合		日本人 感動したことがあった方の割合	70.0%	70.7%	74.4%	73.2%	75.0%	83.6%（※）	82.4%（※）	80.0%	76.8%	—	—	観光客調査
49			外国人 感動したことがあった方の割合	59.4%	80.8%	80.2%	79.4%	78.0%	未実施	未実施	未実施	81.6%	—	—	

○「京都観光振興計画２０２５」指標及び目標値の推移

計画期間：令和３年度（２０２１）～令和７年度（２０２５）

★ 京都市政策評価における客観指標
(※) 秋調査（１１月）の調査結果のみのデータ

資料２－２

最終更新：令和６年７月２３日

	指標	重点 指標	調査項目	コロナ拡大前					コロナ拡大後				目標値	備考	調査方法
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)			
50	おもてなしを感じた割合		日本人 おもてなしを感じた方の割合	42.7%	50.4%	51.4%	52.4%	52.9%	58.1%	53.6%	57.1%	45.4%	—	—	観光客調査
51			外国人 おもてなしを感じた方の割合	92.6%	89.0%	89.1%	90.0%	90.5%	未実施	未実施	未実施	88.4%	—	—	
52	観光客におけるデジタル化の推進状況		日本人 事前情報源にSNSや動画サイ ト等を利用した方の割合	—	—	—	—	—	59.5%(※)	61.4%(※)	63.5%	61.6%	—	—	観光客調査
53			日本人 到着後情報源にSNSや動画サイ ト等を利用した方の割合	—	—	—	—	—	58%(※)	57.6%(※)	62.9%	61.5%	—	—	
54	リピーター関連	●	日本人 リピーター率 ★ 訪問回数１０回以上	62.0%	61.2%	59.8%	61.6%	59.1%	47%(※)	58.1%(※)	56.1%	56.5%	62.0%	【目標値：H27以降の最高値】	観光客調査
55		●	外国人 リピーター率 ★ 訪問回数２回以上	21.9%	20.8%	21.5%	22.2%	22.4%	未実施	未実施	未実施	26.7%	26.7%		
56			日本人 入浴時に度々訪問する箇所が ある方の割合	—	—	—	—	—	—	77.1%	76.4%	74.0%	—	—	市民調査
57			友人等に京都観光をおすすめしたい方 の割合	—	—	—	—	—	—	69.7%	68.9%	57.2%	—	—	
58	宿泊率 ★	●	全体	24.0%	25.6%	29.0%	30.0%	24.6%	未実施	未実施	22.2%	29.3%	29.3%	【目標値：H27以降の最高値】 (ただし、統計手法の変更により R1以降の数値が対象)	観光客調査
59			日本人	20.1%	22.6%	26.1%	25.3%	21.0%	未実施	未実施	未実施	21.7%	—	—	
60			外国人	65.6%	48.1%	47.5%	55.9%	42.9%	未実施	未実施	未実施	75.6%	—	—	
61	平均宿泊日数 ★	●	全体	—	1.52泊	1.57泊	1.61泊	1.61泊	1.46泊	1.41泊	1.42泊	1.61泊	1.61泊	【目標値：H27以降の最高値】 (ただしH28以降調査実施)	観光客調査
62			日本人	—	1.38泊	1.43泊	1.40泊	1.38泊	1.39泊	1.40泊	1.38泊	1.30泊	—	—	
63			外国人	—	1.98泊	2.04泊	2.14泊	2.18泊	2.18泊	2.27泊	2.19泊	2.15泊	—	—	

○「京都観光振興計画2025」指標及び目標値の推移

計画期間：令和3年度（2021）～令和7年度（2025）

★ 京都市政策評価における客観指標
（※）秋調査（11月）の調査結果のみのデータ

資料2－2

最終更新：令和6年7月23日

	指標	重点指標	調査項目	コロナ拡大前					コロナ拡大後				目標値	備考	調査方法
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)			
3 観光の担い手がより活躍し、観光・文化分野での起業・新事業創出が盛んになり、都市の活力向上や文化の継承に寄与する。															
64	観光事業者における正規雇用率		正規雇用率	—	—	—	—	—	—	57.7%	59.4%	60.0%	—	—	事業者調査
65	観光事業従事者の満足度	●	総合満足度（やや満足～大変満足）	—	—	—	—	—	—	49.5%	65.9%	66.5%	66.5%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施） ※R3までは「やりがいをもち業務に取り組んでいる方（11段階中8以上）」	従事者調査
—	時期の分散化（再掲） （＝年間を通じて業間差がなく働く機会がある環境）		月別業間差	1.4倍	1.5倍	1.5倍	1.4倍	1.3倍	未実施	未実施	2.1倍	1.4倍	—	—	観光客調査
66	商品・単価が上昇した観光事業者の割合		主力商品・サービスの売価について、変化があった（かなり上がった、上がった）事業者の割合	—	—	—	—	—	—	24.2%	59.1%	70.5%	—	—	事業者調査
67	担い手の育成に取り組んでいる事業者の割合	●	従業員の能力開発のために、可能な限り研修の機会を設けている事業者の割合	—	—	—	—	—	—	73.8%	73.7%	77.3%	77.3%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施）	事業者調査
—	地域貢献に取り組む観光事業者の割合（再掲）	（●）	「地域との調和」につながる行動を積極的に取り組んでいる事業者の割合	—	—	—	—	—	—	45.8% （再集計前 51.9%）	56.7% （再集計前 59.9%）	51.0%	56.7%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施） ※R5から設問設計を変更。経年比較のため過年の数値を再集計している。 ※「積極的に取り組んでいる」事業者に加え「取り組んでいる」事業者を含めた割合は77.5%。（R5）	事業者調査
—	文化の継承に取り組む事業者の割合（再掲）	（●）	事業活動が京都の文化の維持継承等に寄与してきたと思う（そう思う＋ややそう思う）事業者の割合	—	—	—	—	—	—	70.0%	81.3%	82.8%	82.8%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施）	事業者調査
68	観光事業者におけるデジタル化の推進状況 ★	●	デジタル技術の推進につながる行動に積極的に取り組んでいる事業者の割合	—	—	—	—	—	—	59.9% （再集計前 62.3%）	61.3% （再集計前 65.3%）	50.0%	61.3%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施） ※R5から設問設計を変更。経年比較のため過年の数値を再集計している。 ※「積極的に取り組んでいる」事業者に加え「取り組んでいる」事業者を含めた割合は78.5%。（R5）	事業者調査
4 感染症や災害などの様々な危機に対応できる、しなやかで力強く、安心・安全で環境に配慮した持続可能な観光を実現させる。															
69	BCPなど危機管理に関する計画を策定している観光事業者の割合 ★	●	BCP（事業継続計画）の策定に可能な限り取り組んでいる事業者の割合	—	—	—	—	—	—	57.0%	62.5%	70.9%	70.9%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施）	事業者調査
70	観光事業者における防災・防火訓練等の実施状況		従業員に参加職務のある防災・防火訓練を積極的に実施している事業者の割合	—	—	—	—	—	—	17.5%	24.4%	29.1%	—	—	事業者調査
71	公共交通利用割合（入洛時） ★	●	日本人 入洛利用交通機関（鉄道・バス）利用割合	93.7%	90.7%	91.3%	91.4%	91.0%	86.9%（※）	86.6%（※）	85.9%	90.7%	93.7%	【目標値：H27以降の最高値】	観光客調査
72	環境に配慮した取組の実施状況（観光客、観光事業者）		日本人 意識的に環境に配慮した行動をされた方の割合	—	—	—	—	—	—	89.0%	86.5%	84.7%	—	—	観光客調査
73		●	「景観・環境」につながる行動を、1つ以上の項目で積極的に取り組んでいる事業者の割合	—	—	—	—	—	—	56.1% （再集計前 57.1%）	53.2% （再集計前 54.5%）	50.5%	56.1%	【目標値：H27以降の最高値】 （ただしR3以降調査実施） ※R5から設問設計を変更。経年比較のため過年の数値を再集計している。 ※「積極的に取り組んでいる」事業者に加え「取り組んでいる」事業者を含めた割合は74.0%。（R5）	事業者調査
74			環境に配慮した製品を積極的に利用している事業者の割合	—	—	—	—	—	—	18.2%	19.0%	21.6%	—	—	
75			プラスチックの排出量の削減に積極的に取り組んでいる事業者の割合	—	—	—	—	—	—	17.4%	18.3%	25.1%	—	—	

○「京都観光振興計画2025」指標及び目標値の推移

計画期間：令和3年度（2021）～令和7年度（2025）

★ 京都市政策評価における客観指標
（※）秋調査（11月）の調査結果のみのデータ

最終更新：令和6年7月23日

	指標	重点指標	調査項目	コロナ拡大前					コロナ拡大後				目標値	備考	調査方法
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)			
76	環境に配慮した取組の実施状況 （観光客、観光事業者）		フードロスの低減に積極的に取り組んでいる事業者の割合	—	—	—	—	—	—	22.5%	21.4%	28.8%	—	—	事業者調査
77			電力や燃料消費量の抑制に積極的に取り組んでいる事業者の割合	—	—	—	—	—	—	20.5%	22.5%	22.6%	—	—	
78			環境に関する認証を積極的に取得されている事業者の割合	—	—	—	—	—	—	13.8%	11.4%	10.7%	—	—	

5 MICE都市としての魅力を確立し、世界の人々が集い、多様性を認め合い、世界平和に貢献するまちになる。

79	国際会議件数	ICCA基準	ICCA基準 （京都市）国際会議開催件数	45件	58件	46件	59件	67件	—	—	—	—	—	—	ICCA統計
80		JNTO基準★	JNTO基準 （京都市）国際会議開催件数	218件	278件	306件	348件	383件	26件	4件	70件	172件	172件 【暫定目標】	【目標値：R2以降の最高値】 コロナ禍で状況が激変し、コロナ前後の比較が困難であるため、コロナ禍以降の数値で暫定目標として設定。	JNTO統計
81	海外参加者数★		JNTO基準（京都市）国際会議 海外参加者数	17,022人	26,602人	21,102人	32,449人	30,585人	562人	349人	7,747人	22,710人	22,710人 【暫定目標】	【目標値：R2以降の最高値】 コロナ禍で状況が激変し、コロナ前後の比較が困難であるため、コロナ禍以降の数値で暫定目標として設定。	JNTO統計
82	国際会議消費額（経済効果額）		観光庁「MICE開催による経済波及効果測定のための簡易測定モデル」活用	—	—	—	—	235億円	未調査	未調査	未調査	—	—	—	MICE調査
83	国際会議による延べ宿泊客数		JNTO基準（京都市）国際会議 延べ宿泊日数	—	—	—	—	未調査	未調査	未調査	未調査	—	—	【代替指標の設定】 ○国際会議による延べ宿泊客数について 令和2年以降の数値について、MICE実態調査にて把握する予定であったが、コロナの影響により実施の目処が立たないため、当面、「国際会議平均開催日数」で代替する。	MICE調査
	（代替指標） 国際会議の平均開催日数		JNTO基準（京都市）国際会議 国際会議の平均開催日数	未集計	未集計	未集計	未集計	2.99日	2.96日	4.67日	4.1日	3.5日	—		JNTO統計